

第12回 旭区地域生活支援フォーラム

福祉サービスだけでは安心できない!?

障害のある人のくらし

～つながり・支えあうことの大切さ～

を開催します!

障害のある方が、地域で様々な方のサポートを受けながらいきいきと生活しているご様子を紹介し、「地域とのつながり」や「互いに支え合うこと」の大切さについて、登壇者による意見交換を行います。

ご近所さんのちょっとした関わりで、身体障害のある方が地域でいきいきと生活しています。

当事者家族の亡きあと、顔見知りのご近所の方が普段の付き合いの中で、本人の日常生活のサポートを続けています。地域で障害のある方を、日常的な見守りを通じてサポートする、ちょっとした心遣いをお伝えます。(ご近所の方が登壇します!)

精神障害のある方が、「日常の困りごと」や「わかってもらいたいこと」を本音で話します。

「一見、あれ??と思われる行動にも、実は理由があります」...など、精神障害がある方特有の「日常の困りごと」や「わかってもらいたいこと」を、トーク形式で障害当事者である旭区生活支援センタースタッフの方がわかりやすく紹介します。精神障害の理解と、配慮ある接し方等を知ってみませんか。

★公会堂のロビーには、区内の障害福祉事業所が自主製品の販売ブースも出展しますので、是非お誘いあわせの上、お気軽にご来場ください。(12時～16時)

イベント概要

《日時》 令和元年 12 月 7 日 (土) 12 時 30 分～15 時 30 分 (開場 12 時)

《会場》 旭公会堂 (旭区鶴ヶ峰 1-4-12 旭区役所 4 階/鶴ヶ峰駅より徒歩 7 分)

《内容》

- 第1部 基調講演 「ともに生きる・輝く社会に」
【講師】 野沢 和弘氏 (元 毎日新聞論説委員)
- 第2部 事例報告&意見交換
【事例報告機関】 旭区基幹相談支援センター
旭区生活支援センターほっとほっと
【コーディネーター】 野沢 和弘氏 (元 毎日新聞論説委員)

《入場料》 無料

《定員》 400 名 (申込不要 先着順)

《主催》 旭福祉保健センター高齢・障害支援課 《共催》 旭区地域自立支援協議会 旭区社会福祉協議会

※ 取材を希望される場合は、直接会場へお越しください

お問い合わせ先

旭区高齢・障害支援課長 杉本 光明 Tel 045 - 954 - 6128

第12回 旭区地域生活支援フォーラム

福祉サービスだけでは安心できない!?

障害のある人のくらし

～つながり・支えあうことの大切さ～

障害のある人が、住み慣れた地域で、安心して暮らしていくためには、何が必要でしょうか？

福祉サービスさえ整っていれば、幸せに暮らせるでしょうか？

障害のある人の生活は、福祉の枠や制度の中だけで完結することはできません。

福祉サービスだけに頼らず、ご近所さんとのつながりや支え合いがあって、初めて豊かな暮らしが実現できます。

「地域丸ごと」のつながりの強化を、「我が事」として、みんなで考えてみませんか？

主催：旭福祉保健センター 高齢・障害支援課 共催：旭区地域自立支援協議会 旭区社会福祉協議会

日時

12月7日(土)

12:30～15:30

(開場：12:00)

会場

旭公会堂

旭区役所4階

(旭区鶴ヶ峰1-4-12)

注目!

ロビーにて、区内の障害福祉事業所による販売あり
(～16:00)

第1部

基調講演「ともに生きる・輝く社会に」

●講師：野沢和弘氏(元 毎日新聞論説委員)

第2部

事例報告&意見交換

●コーディネーター：野沢和弘氏



旭区マスコットキャラクター

あさひくん

【野沢和弘氏 プロフィール】 一般社団法人スローコミュニケーション代表 / 植草学園大学客員教授。

1959年静岡県出身。早稲田大学法学部卒業。毎日新聞社入社後、津支局、中部報道部、東京社会部。薬害エイズ取材班、児童虐待取材班等を担当。科学環境部副部長、社会部副部長、夕刊編集部長、論説委員を経て現職。

社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師などを務める。

主な著書に「あの日、君が泣いたわけ」



※当日、手話通訳を希望される方は、11月1日(金)までに事務局までご連絡ください
お問い合わせ(旭区自立支援協議会 事務局)

◆旭区基幹相談支援センター TEL 045-365-7000 FAX 045-365-7003

◆旭区高齢・障害支援課 障害者支援担当 TEL 045-954-6128 FAX 045-955-2675